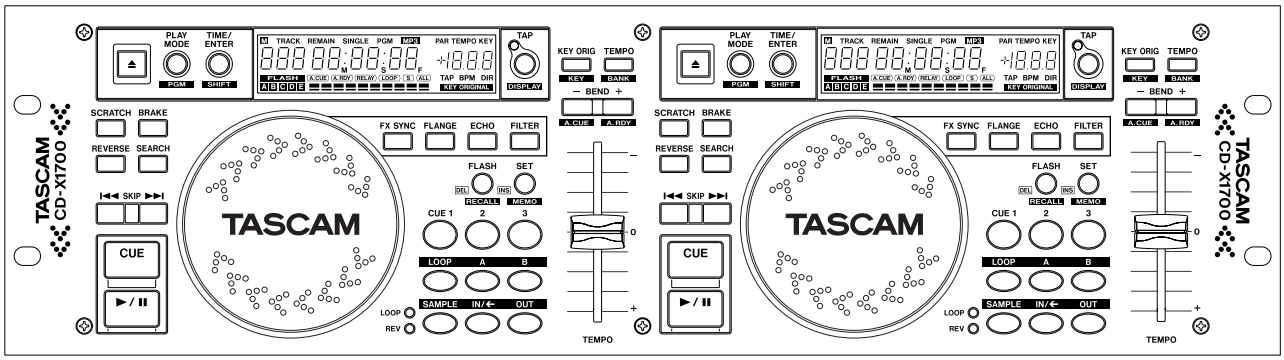
D00785200A

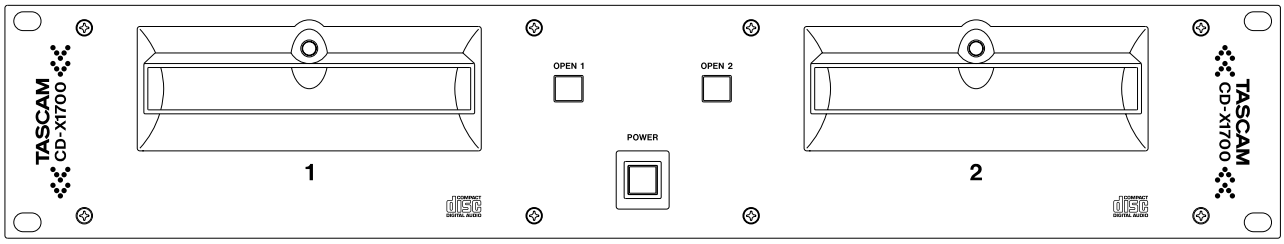
TASCAM
TEAC Professional Division

CD-X1700

DUAL CD PLAYER

取扱説明書





安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告	
⚠	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
⚠	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
⃠	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠警告	
	この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2　cm以上、背面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意	
	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・湿気やほこりの多い場所 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

1. はじめに

このたびは、TASCAM CD-X1700をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。本機はCDプレーヤーユニットを2つ搭載し、コントロール部分を本体から分離した、デュアルCDプレーヤーです。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、充分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。

目次

安全にお使いいただくために 2
1. はじめに 4
1.1 構成 4
1.2 安全上のご注意 4
1.3 設置、使用上のご注意 5
1.4 コンパクトディスクの取扱い 5
1.5 ラックマウントについて 5
1.6 アフターサービスについて 5
2. 各部の名称と機能 6
2-1. 本体（フロントパネル） 6
2-2. 本体（リアパネル） 6
2-3. リモートコントローラー（トップパネル） 7
2-4. リモートコントローラー（ボトムパネル） 9
2-5. リモートコントローラー（LCD） 9
3. 基本操作 11
3-1. CUE 11
キューポイントの登録 11
キューポイントの確認再生 11
3-2. CUE 1-3 11
CUE 1-3ポイントの登録 11
CUE 1-3ポイントの確認再生 11
3-3. フラッシュスタート 11
3-4. A-Bループ再生 12
ループポイントの設定 12
ループ再生の解除 12
リループ再生 12
ループポイントの消去 12
ループ終了ポイントの編集 12
3-5. 再生テンポの調整 12
テンポレンジ 12
テンポスライダー 13
BPMおよびTAPキー 13
3-6. ピッチベンド 13
3-7. キーオリジナル 13
4. 応用操作 14
4-1. キーコントロール 14
4-2. スクラッチ 14
4-3. ブレーキ 14
ブレーキタイムの設定 14
4-4. エフェクト 14
エフェクトタイムの設定 14
エフェクトタイムをBPMに合わせる 15
エフェクトレベルの設定 15
フランジャー 15
エコー 15
フィルター 15
4-5. リバース再生 16
4-6. サンプラー 16
サンプリング 16
A-Bループ区間のサンプリング 16
サンプラーの再生 16
サンプラーの停止 16
サンプリングデータの消去 16
サンプラーのループ再生 16
サンプラーのリバース再生 17
サンプラーのピッチコントロール 17
サンプラーの再生レベルの設定 17
サンプリングデータのリコール 17
4-7. トラックメモリー/リコール 17
メモリー 17
リコール 18
4-8. フェーダースタート 18
4-9. リレー再生 19
4-10. オートキュー 19
4-11. オートレディー 19
4-12. プログラム再生 19
プログラムの作成 19
プログラムの変更 20
プログラムの追加 20
プログラムの削除 20
4-13. MP3ファイルの再生 21
4-14. プリセットメニュー 21
4-15. バックアップメモリー 22
5. 定格および性能 23
エラーメッセージチャート 23

1.1 構成

本機の構成は以下の通りです。

1. コンパクト・ディスク・プレーヤー 1
2. リモート・コントローラー 1
3. 付属品
   1 リモコン用ケーブル（2.2m） 1
   2 取扱説明書 1
   3 フェーダースタート用ケーブル 2
   4 ラックマウントビス 1式
4. 保証書 1

1.2 安全上のご注意

- 本機の電源はAC 100V 50－60Hzの日本国内仕様です。電源事情の異なる海外ではご使用になれませんので、ご注意ください。また、直流電源に直接つないで使用することはできません。

- 電源コードをコンセントから抜く時には、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るなどの無理な使い方は、断線など故障の原因になります。また、水などに濡れた手でプラグを抜き差しするのは、感電の恐れがあり非常に危険ですので、絶対に行わないでください。
- ケースのカバーを取り外したり、内部に手を触れたりしないでください。万一、内部に水などの液体や可燃物、ピンやクリップなどの金属類が入った場合は感電の危険があり、また故障の原因になりますので、直ちに電源プラグを抜いて最寄りの当社サービス機関までご連絡ください。

1.3 設置、使用上のご注意

- 本機の動作温度は５℃～35℃です。この範囲内でご使用ください。また、ほこりや湿気の多い場所への設置は故障の原因になりますので、さけてください。
- 95～105Vが使用範囲です。変動の多い場所では電圧調整器をご使用ください。
- 本機を置く台や棚は、必ず水平で頑丈な場所に設置してください。
- 本体には強い衝撃を与えないでください。内部回路やケースが損傷する場合があります。
- パネルおよびケースの清掃には、シリコンクロスなどの軟らかい布をご使用ください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤液を布に含ませて軽く拭いてください。なお、シンナーやベンジンなどの溶剤は、アクリル部や塗装面が溶けたり、表示文字が消えたりすることがありますので、絶対に使用しないでください。

ご注意

本機を密閉された場所に設置しないでください。

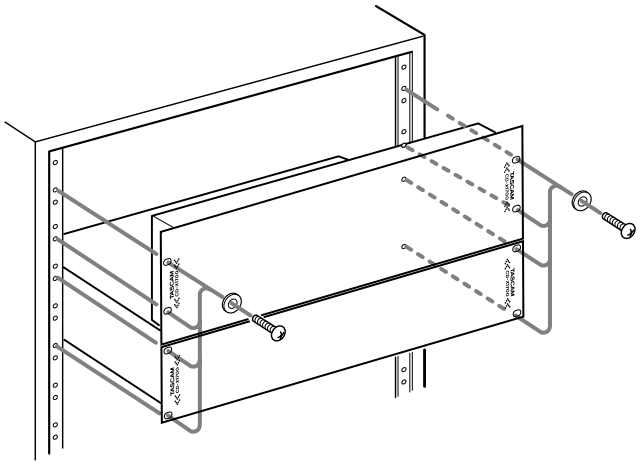
1.4 コンパクトディスクの取扱い

本機はコンパクトディスク（CD方式）専用のプレーヤーです。
マークがあるコンパクトディスクをお使いください。

- ディスクは、必ずラベル面を上にしてセットしてください。コンパクトディスクは片面演奏です。
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を押してディスクの外周部分を手で挟むように持って取り出してください。
- 信号記録面にほこりや指紋が付いたら、柔らかい布などで軽く内側から外側に直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ほこりなどが付いたら、柔らかい布で拭くだけで充分です。多少のほこりや汚れなどは音質に全く影響を与えません。
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーを絶対に使わないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの薬品で表面が侵されることがあります。
- 演奏が終わったら、ディスクを必ずケースに入れて保管してください。ディスクのひどい変型やひどい傷は音飛びの原因になります。
- 直射日光が当たる場所や高音多湿な場所に長時間置かないでください。ディスクを高音な場所に長時間放置すると変型などの原因になります。
- ラベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

1.5 ラックマウントについて

本機はプレーヤー本体、リモートコントロールユニット両方に、ラックマウントアングルを備えていますので、EIA規格の19インチラックにマウントすることができます。

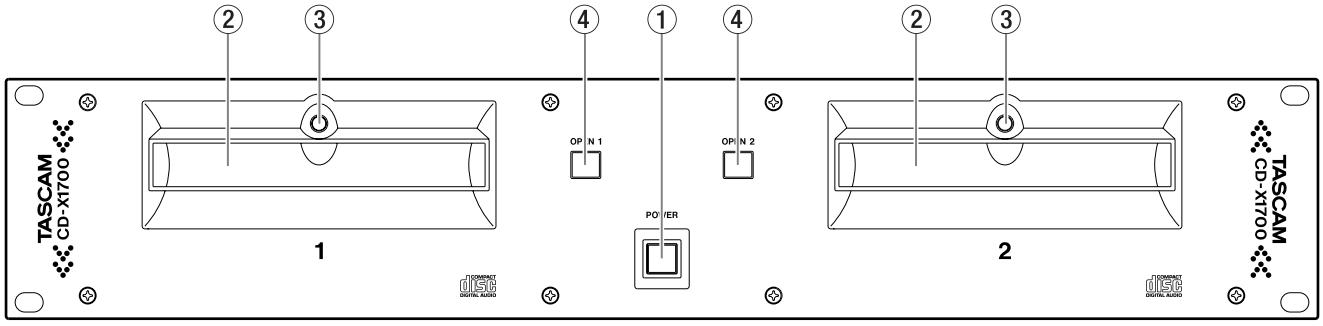


1.6 アフターサービスについて

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、記載内容をご確認の上、取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より１年です。保証期間中は記載内容により当社サービス機関が修理いたします。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店または当社営業所などにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上ご連絡ください。
  - 型名、型番（TASCAM CD-X1700）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。

2. 各部の名称と機能

2-1. 本体（フロントパネル）



① POWER

電源をオン/オフします。電源がオンのときトレイLEDが点灯します。

タイマースタート機能がオンのとき、電源をオンにすると自動的に再生を開始します。

② ディスクトレイ

ディスクを挿入します。

③ トレイLED

電源がオンのとき点灯します。

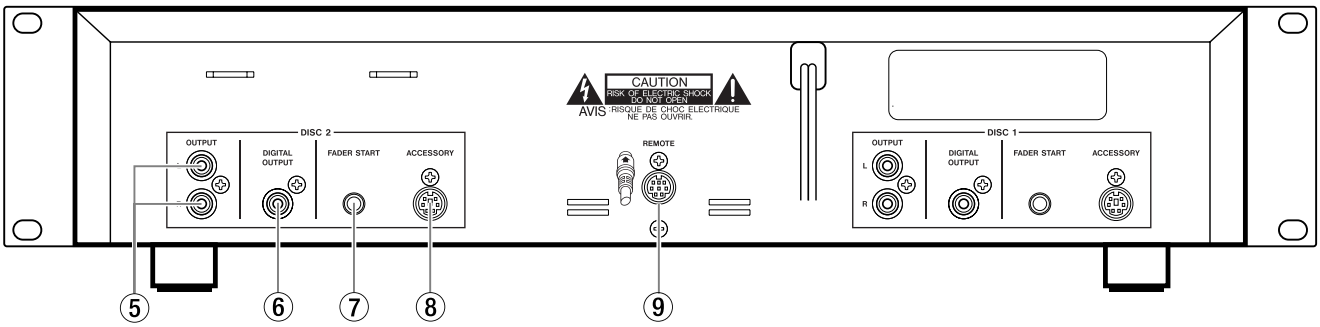
④ OPENキー

トレイを開閉します。

ご注意

これらのキーはダイレクトモード（プリセット：P22）がオフのとき、ディスク再生中は受け付けません。

2-2. 本体（リアパネル）



⑤ OUTPUT端子（RCAピン）

アンバランスアナログライン出力端子です。

⑥ DIGITAL OUTPUT端子（COAXIAL）

S/PDIFフォーマットのデジタル出力端子です。ピッチコントロールがオンのときでも、常に44.1KHzのデジタル信号を出力します。

⑦ FADER START端子（ミニジャック）

フェーダースタートに対応した外部ミキサーなどを使ってCD-X1700をフェーダースタートする際に使用します(→P18)。この場合、フェーダースタートを行うミキサーにオーディオ信号も接続してください。

（TIP：スタート、GND：バックキュー）

⑧ ACCESSORY端子（MINI DIN 6P）

別売スクラッチコントローラー、TT-M1を接続します。

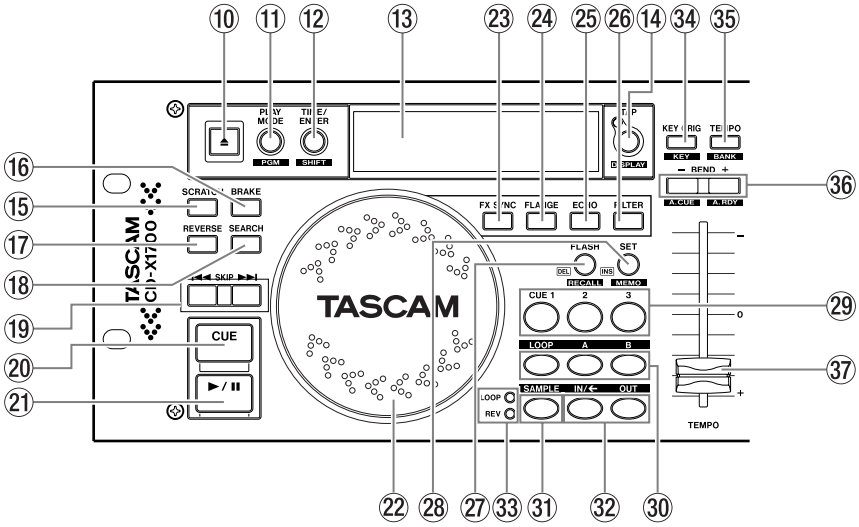
⑨ REMOTE端子（MINI DIN 8P）

コントローラーと付属のケーブルで接続します。

ご注意

付属のリモートケーブルをご使用ください。端子横の図をよく見て、正しい向きでケーブルのプラグを挿し込んでください。誤った向きで無理に挿入すると、本機を損傷させることがあります。

2-3. リモートコントローラー（トップパネル）



⑩ OPEN

ディスクトレイを開閉します。

ご注意

ダイレクトモード（プリセット：P22）がオフのとき、ディスク再生中はこのキーを押してもディスクトレイは開きません。

⑪ PLAY MODE / PGM

再生モードを選択します（1曲、全曲、またはプログラム）。
1曲再生モード時はLCD内のSINGLEインジケーターが点灯します。プログラム再生モード時はLCD内のPGMインジケーターが点灯します。全曲再生モードの表示はありません。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとプログラムエディットモードになります（➞P19）。

⑫ TIME/ENTER / SHIFT

タイムモードを切り替えます（トラック経過時間、トラックリメイン、およびトータルリメイン）。
トラックリメインモード、およびトータルリメインモード時はLCD内のREMAINインジケーターが点灯します。トータルリメイン時は、トラック表示部に総トラック数表示と総残り時間表示をします。ただし、トラックの終わり5秒間は現在のトラック番号が点滅表示し、トラックの始めの5秒間は現在のトラックが点灯表示します。

また、他のキーとの組み合わせで以下の機能になります。

SHIFT + PLAY MODE:	プログラムエディット
SHIFT + FLASH:	トラックメモリーリコール
SHIFT + SET:	トラックメモリー
SHIFT + TEMPO:	メモリーバンクセレクト
SHIFT + BEND -:	オートキューオン/オフ
SHIFT + BEND +:	オートレディーオン/オフ
SHIFT + TAP:	パラメーター表示切り替え
SHIFT + ジョグ:	プリセット
SHIFT + B:	ループ終了ポイント編集
SHIFT + CUE:	CUE機能切り替え

⑬ LCD

再生時間など、CD-X1700の様々な情報を表示します。

⑭ TAP / DISPLAY

このキーを数回押すことにより、BPMを計測することができます（➞P13）。このキーを押すと、パラメーター表示部が一時的にBPM表示に切り替わります。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとパラメーター表示部のモードを切り替えることができます。
TEMPO ➞ KEY ➞ TAP ➞ BPM ➞ (DIR) ➞

⑮ SCRATCH

スクラッチ機能をオン/オフします。スクラッチ機能がオンのときこのキーが点灯し、ジョグダイアルでスクラッチを行うことができます（➞P14）。

⑯ BRAKE

ブレーキ機能をオン/オフします。またこのキーを押しながらジョグダイアルを回すとブレーキタイムを設定します（P14）。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとリレー再生をオン/オフします（➞P19）。

⑰ REVERSE

リバース再生をオン/オフします（➞P16）。

⑱ SEARCH

ジョグダイアルによるサーチ機能をオン/オフします。サーチ機能がオンのとき、このキーが点灯します。サーチ機能がオンのとき、5秒間サーチを行わなかった場合、自動的にサーチモードを解除します。

⑲ SKIP
トラックを選択します。。

⑳ CUE
キューポイントに戻り待機します。
キューポイントで待機しているときにこのキーを押し続けるとキューポイントより再生します。キーを離すとキューポイントに戻ります（➞P11）。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとCUE機能を切り替えます（➞P11）。

㉑ PLAY/PAUSE
再生、一時停止を行います。再生中はキーが点灯し、一時停止中はキーが点滅します。

㉒ ジョグダイアル
ジョグダイアルには以下のような機能があります。
- サーチ
- ピッチベンド
- スクラッチ
- ブレーキタイム設定
- キーコントロール
- プリセット
- エフェクトパラメーター
- サンプラーテンポ/レベル
- プログラムエディット
- トラックメモリー番号選択

㉓ FX SYNC
エフェクトタイムをBPMに同期させます（➞P14）。

㉔ FLANGE
フランジャーエフェクトをオン/オフします（➞P15）。

㉕ ECHO
エコーエフェクトをオン/オフします（➞P15）。

㉖ FILTER
フィルターエフェクトをオン/オフします（➞P15）。

㉗ FLASH / RECALL / DEL
フラッシュスタートをオン/オフします（➞P11）。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとトラックメモリーをリコールするモードになります（➞P18）。
プログラムエディット時は、現在表示しているトラックをリストから削除します（➞P21）。

㉘ SET / MEMO / INS
SETキーを押した後、CUE 1-3キーを押すとCUE 1-3ポイントを登録します（➞P11）。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとトラックメモリーモードになります（➞P17）。
プログラムエディット時は、プログラムの追加をします（➞P20）。

㉙ CUE 1-3
SETキーと合わせてCUE 1-3ポイントを登録します（➞P11）。CUE 1-3ポイントが登録されているとき、フラッシュスタートがオフの場合は、キーを押すと登録されているポイントに戻り待機します。またフラッシュスタートがオンのときは、キーを押すと登録されているポイントからフラッシュスタートします。

㉚ LOOP, A, B
ループポイントの設定、消去、ループ再生のオン/オフ、リループ再生を行います（➞P12）。

㉛ SAMPLE
サンプラーの再生中は点灯し、録音中は点滅します（➞P16）。このキーを押しながらINキーを押すとサンプラーリバース再生をオン/オフします。このキーを押しながらOUTキーを押すとサンプラーループ再生をオン/オフします（➞P16）。

㉜ IN、OUT
サンプラーの記録、消去、再生、停止などを行います（➞P16）。

㉝ LOOPおよびREV LED
サンプラーの再生モードを表示します（➞P16/17）。

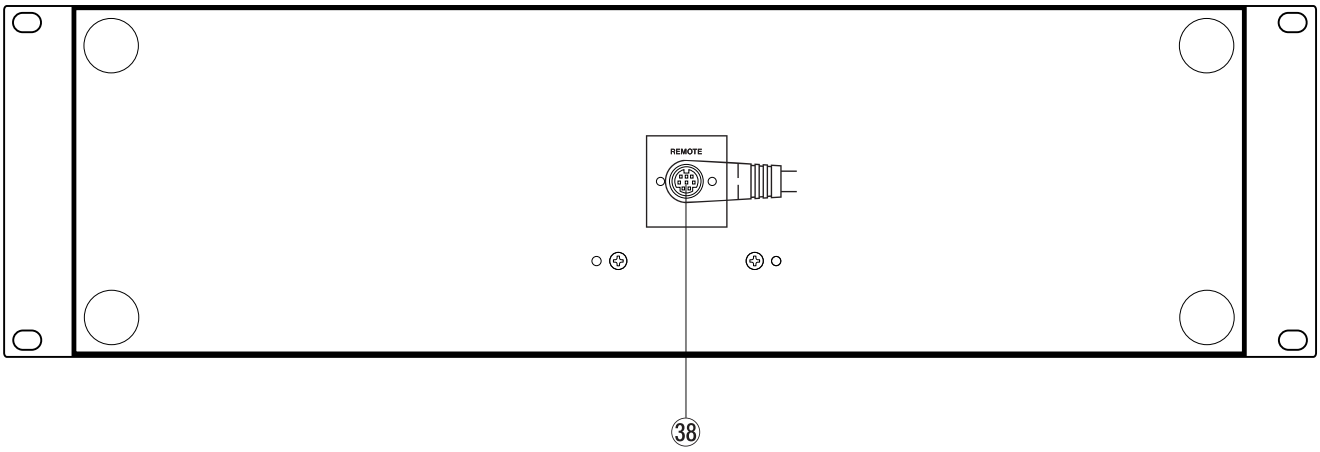
㉞ KEY ORIG / KEY
キーオリジナル機能をオン/オフします（➞P13）。
キーオリジナル機能がオフのとき、このキーを押しながらジョグダイアルを回すとキーコントロールを行います（➞P14）。

㉟ TEMPO / BANK
テンポレンジを設定します（±8, 16, 32, 100, 0%）（➞P12）。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとトラックメモリーバンクを切り替えます（➞P17）。

㊱ BEND +/ A.RDY, −/A.CUE
ピッチベンドを行います（➞P13）。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらBEND −キーを押すとオートキュー機能をオン/オフします（➞P19）。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらBEND +キーを押すとオートレディー機能をオン/オフします（➞P19）。

㊲ TEMPOスライダー
再生テンポを調整します（➞P13）。

2-4. リモートコントローラー（ボトムパネル）



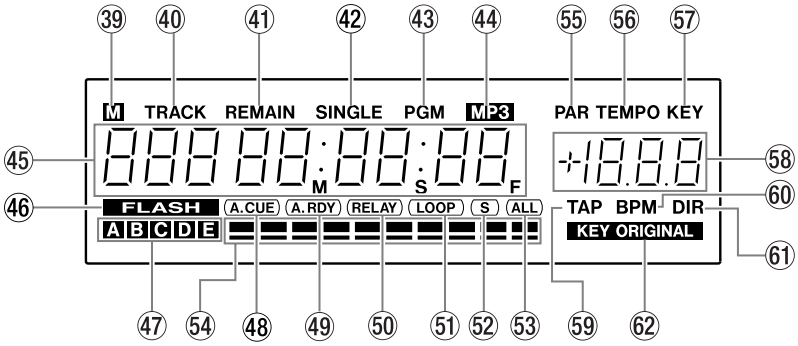
㊳ REMOTE端子

本体と付属のケーブルで接続します。

ご注意

付属のリモートケーブルをご使用ください。端子横の図をよく見て、正しい向きでケーブルのプラグを挿し込んでください。誤った向きで無理に挿入すると、本機を損傷させることがあります。

2-5. リモートコントローラー（LCD）



㊴ M

現在選択されているメモリーバンク内に、現在選択されているトラックのメモリーデータがある場合、このインジケーターが点灯します。

㊵ TRACK

㊶ REMAIN

時間表時モードがリメインモード時に点灯します。

㊷ SINGLE

再生モードが１曲再生モード時に点灯します。

㊸ PGM

再生モードがプログラム再生モード時に点灯します。

㊹ MP3

MP3ファイルが記録されたディスクが挿入されたときに点灯します。

㊺ 時間表示部

トラック番号、時間表示などをします。

㊻ FLASH

フラッシュスタートがオンのとき点灯します。

㊼ A～E
現在選択されているトラックメモリーバンクが点灯します。

㊽ A.CUE
オートキュー機能がオンのとき点灯します。

㊾ A.RDY
オートレディー機能がオンのとき点灯します。

㊿ RELAY
リレー再生機能がオンのとき点灯します。

(51) LOOP
ループ再生時に点灯します。

(52) S
1曲ループ再生時に点灯します。

(53) ALL
全曲ループ再生時に点灯します。

(54) タイムアドレスバー
トラック内における現在のおおよその再生位置を表示します。

(55) PAR
エフェクトがオンのとき、パラメーター表示部にエフェクトのパラメーターを表示しているときに点灯ます。

(56) TEMPO
パラメーター表示部がテンポ値を表示しているときに点灯します。

(57) KEY
パラメーター表示部がキー値を表示しているときや、キーが0%以外に設定されているときに点灯します。

(58) パラメーター表示部
様々なパラメーターを表示します。

(59) TAP
TAPキーで入力したBPMを表示しているときに点灯します。

(60) BPM
自動計測したBPMを表示しているときに点灯します。

(61) DIR
MP3ファイルが記録されたディスクを挿入時、ディレクトリ番号を表示しているときに点灯します。

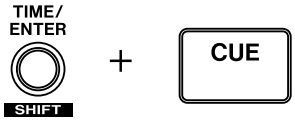
(62) KEY ORIGINAL
キーオリジナル機能がオンのとき点灯します。

3-1. CUE

CD-X1700は再生を開始したいポイントをキューポイントとして登録することができます。キューポイントが登録されていると、CUEキーを押すことによりあらかじめ登録されていたポイントにロケートすることができます。

キューポイントの登録

キューポイントの登録方法は２通りあります。
SHIFTキーを押しながらCUEキーを押すことによりキューポイントの登録方法を切り替えることができます。



PLY：最後に再生を開始したポイントをキューポイントとして登録します。

CUE：一時停止中にCUEキーを押したポイントをキューポイントとして登録します。

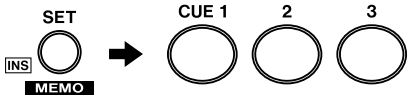
キューポイントの確認再生

キューポイントで待機中にCUEキーを押し続けると、キューポイントから再生を開始します。CUEキーを離すとキューポイントに戻り待機します。
CUEキーを押して確認再生中にPLAYキーを押すと通常再生になります。

3-2. CUE 1-3

CUE 1-3ポイントの登録

1. 登録したいポイントをサーチします。
2. SETキーを押します。パラメーター表示部に SEt が表示されます。
3. CUE 1-3のどれかのキーを押します。



キューポイントが登録されると、対応するキーが点灯します。
一時停止中、フラッシュスタートがオンのときCUE 1-3ポイントの登録操作をすると、自動的に再生を開始します。一時停止中、フラッシュスタートがオフのときCUE 1-3ポイントの登録操作をすると、対応するキー（CUE 1-3）が３回点滅し、その後点灯します。

ご注意

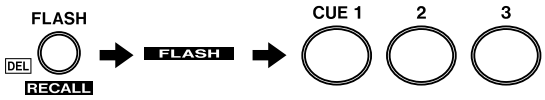
CUE 1-3ポイントを登録した直後３秒間は、別のCUE 1-3ポイントを登録することはできません。

CUE 1-3ポイントの確認再生

キューポイントで待機中にCUE 1-3キーを押し続けると、対応するキューポイントから再生を開始します。キーを離すとキューポイントに戻り待機します。
CUE1-3キーを押して確認再生中にPLAYキーを押すと通常再生になります。

3-3. フラッシュスタート

CUE 1-3キーを使ってフラッシュスタートを行うことができます。
フラッシュスタートがオンのとき（LCD内のFLASHインジケーター FLASH が点灯時）、CUE 1-3キーを押すことによりフラッシュスタートを行うことができます。



ご注意

フラッシュスタートがオフのとき（LCD内のFLASHインジケーター FLASH が消灯時）CUE 1-3、キーを押すと、対応するキューポイントにロケートし待機します。

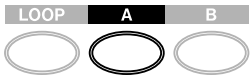
3-4. A-Bループ再生

ループポイントの設定

ご注意

- ループポインを登録する場合はAキーおよびBキーが消灯していること（ループポイントが登録されていない）を確認してください。既にループポイントが設定されているときは、ループポイントを消去してから再度登録してください。
- ループポイントは同一トラック内で登録してください。トラックをまたぐループ再生には対応していません。
- BポイントはAポイントより後ろにしか設定できません。
- A-Bループはループモードが A-B に設定されているときに可能です。このときはLCD内のSインジケーターとALLインジケーターが消灯しています。

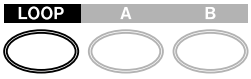
1. 再生中または一時停止中にAキーを押します。このとき、Aキーが点灯し、Bキーが点滅します。



2. 再生中または一時停止中にBキーを押します。このとき、Aキー、BキーおよびLOOPキーが点灯します。再生中にループポイントを設定した場合、シームレスにループ再生を開始します。一時停止中にループポイントを設定した場合はループ開始点で待機します。このときLCD内のLOOPインジケーター（LOOP）が点灯します。

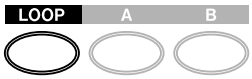
ループ再生の解除

ループ再生中にLOOPキーを押すとLOOPキーが消灯しループ再生を解除し、そのまま再生を続けます。このときループポイントは消去されません。
また、CUEキーやCUE　1-3キーなどでループ区間外にロケートされた場合、LOOPキーが消灯しループ再生を解除します。このときもループポイントは消去されません。



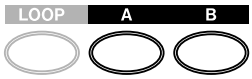
リループ再生

ループポイントが登録済みでループ再生が解除されているとき、LOOPキーを押すことにより、再度ループ再生をシームレスに開始することができます。



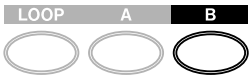
ループポイントの消去

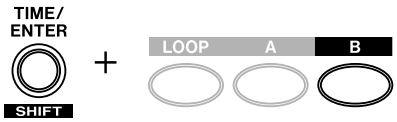
AキーとBキーを同時に押すとループポイントを消去します。このときAキーとBキーは消灯します。または、ディスクトレイを開けるとループポイントを消去します。



ループ終了ポイントの編集

ループ再生中にBキーを押すとループ終了ポイントを変更します。
SHIFTキーを押しながらBキーを押すとループ終了ポイントをジョグダイアルで変更できます。Bキーを押すと、Bポイントを確定し、Bポイント編集モードを抜けます。





ご注意

ループ終了ポイントの編集は、現在のループ終了ポイントより後ろには移動できません。

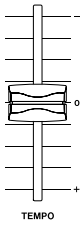
3-5. 再生テンポの調整

テンポレンジ

CD-X1700は±8、16、32、100%（および0%）のピッチコントロール機能を搭載しています。TEMPOキーを押すことにより、8→16→32→100→0→8...の順でテンポレンジを変更することができます。パラメーター表示部に設定されたテンポレンジが一時的に表示されます。0%を選択した場合はテンポレンジ表示は行わず、パラメーター表示部のテンポ表示が －－－ になります。

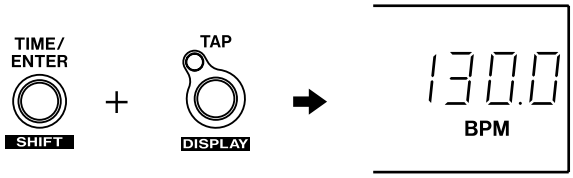
テンポスライダー

テンポスライダーを使ってテンポコントロールを行います。現在の再生テンポはパラメーター表示部に表示されます。



BPMおよびTAPキー

CD-X1700は再生している曲のBPMを自動計測します。自動計測したBPM値はパラメーター表示部のモードをBPMに設定することによって表示することができます。またTAPキーの上のLEDが自動計測されたBPM値に連動して点滅します。



TAPキーを数回押すことにより、BPMを手動で計測することができます。手動計測されたBPMはパラメーター表示部に一時的に表示されます。またTAPキーの上のLEDがBPM値に連動して点滅します。このBPM値はテンポを変えると連動して自動的に変化します。

TAPキーを1.5秒間以上押し続けると、入力したBPM値を消去します。また、TAPキーを押しながら1.5秒以内にジョグダイアルを回すとBPM値を微調整することができます。

ご注意

自動計測したBPM値やTAPキーで計測したBPM値は、エフェクターのビートパラメーター用として使用することができます（P15）。TAPキーでBPMを計測している場合はTAP BPM値が、TAP BPM値が無い（消去した）場合は自動計測したBPM値がエフェクトビートパラメーター用として使用されます。

3-6. ピッチベンド

再生中にBEND +/-キーやジョグダイアルを回すことにより、再生スピードを一時的に早くしたり遅くしたりすることができます。

BEND +キーを押すかジョグダイアルを時計回りに回すと再生スピードが早くなり、キーを離すまたはジョグダイアルを止めると元の再生スピードに戻ります。

BEND -キーを押すかジョグダイアルを反時計回りに回すと再生スピードが遅くなり、キーを離すまたはジョグダイアルを止めると元の再生スピードに戻ります。

ご注意

- サーチ機能、スクラッチ機能、またはエフェクトがオンのとき、ジョグダイアルはピッチベンド機能に使うことはできません。
- 最大ピッチベンド幅は± 16%です。
- キーオリジナル機能がオンのとき、ピッチベンド時もキーは変わりません。

3-7. キーオリジナル

テンポレンジが8%、16%または32%時はKEY ORIGキーを押すことにより、テンポを変えてもキーが変わらないキーオリジナル機能をオン/オフすることができます。キーオリジナル機能がオンのとき、LCD内のKEY ORIGINALインジケーター KEY ORIGINAL が点灯します。

キーオリジナル機能がオンのとき、パラメーター表示部のキー表示（KEYインジケーター点灯時）は - - - になります。

4-1. キーコントロール

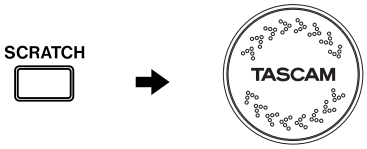
CD-X1700は±８および±16%のキーコントロール機能を搭載しています。キーコントロールレンジはテンポレンジに連動します。ただし0%時、±32%時および±100%時はキーコントロール機能は働きません。
テンポレンジが±8%時は0.1%単位で、±16%時は0.2%単位でキーコントロールを設定することができます。
KEYキーを押しながらジョグダイアルを回すとキーを設定することができます。

ご注意

- キーオリジナル機能がオンのときは、キーコントロール機能は働きません。
- キー値は実際のキーの変化量を表示するため、キーコントロール値とテンポ値の合計になります。

4-2. スクラッチ

SCRATCHキーでジョグダイアルによるスクラッチ機能のオン/オフを行うことができます。



ご注意

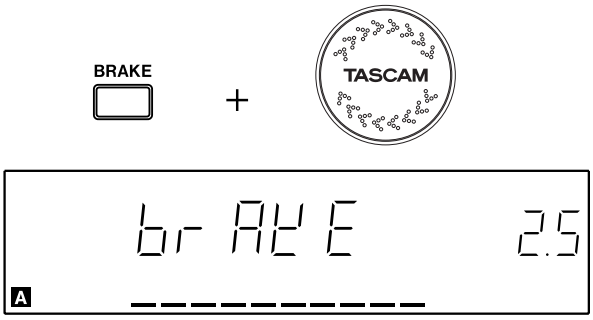
- 再生開始直後（フラッシュスタート、トラックスキップ、ループ再生を含む）３秒間はリバース方向のスクラッチ再生はできません。
- MP3再生時、リバース方向のスクラッチは最大７秒まで可能です。
- サーチ機能がオンのときはジョグダイアルでのスクラッチはできません。
- マニュアルフィルターエフェクトがオンのとき（P15）はジョグダイアルでのスクラッチはできません。

4-3. ブレーキ

BRAKEキーを押すと、ブレーキ機能をオン/オフすることができます。ブレーキ機能をオンにすると、再生から一時停止状態にするときに、アナログターンテーブルのように、徐々にピッチを下げながら再生を止めることができます。ブレーキ機能がオンのとき、BRAKEキーが点灯します。

ブレーキタイムの設定

BRAKEキーを押しながらジョグダイアルを回すとブレーキタイムを設定することができます。ブレーキタイムは0.1秒から５秒まで、0.1秒単位で設定することができます。

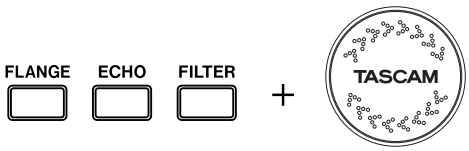


4-4. エフェクト

CD-X1700にはフランジャー、エコー、およびフィルターエフェクトが搭載されています。
各エフェクトキーを押すと、それぞれのエフェクトをオン/オフすることができます。
FX SYNCキーを押すと、エフェクトタイムをBPMに合わせることができます。
SHIFTキーを押しながら各エフェクトキーを押すと、それぞれのエフェクトレベルを調整することができます。

エフェクトタイムの設定

エフェクトをオンにすると、ジョグダイアルでエフェクトタイムを設定することができます。



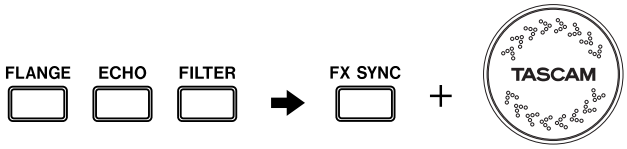
このとき、パラメーターディスプレイにエフェクトタイムが表示されます。

ご注意

スクラッチ機能がオンのとき、ジョグダイアルでエフェクトタイムの設定はできません。

エフェクトタイムをBPMに合わせる

エフェクトをオンにし、FX SYNCキーをオンにすると、エフェクトタイムを現在のBPM値（TAP BPMまたは自動計測したBPM、P13）に合わせることができます。ジョグダイアルを使ってビートを設定することができます。



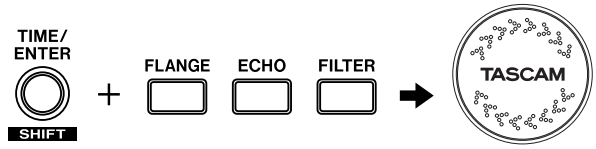
このとき、パラメーターディスプレイにエフェクトビートが表示されます。

ご注意

スクラッチ機能がオンのとき、ジョグダイアルでエフェクトビートの設定はできません。

エフェクトレベルの設定

SHIFTキーを押しながら各エフェクトキーを押すと、それぞれのエフェクトレベルをジョグダイアルで設定することができます。
このときパラメーターディスプレイにエフェクトレベルが表示されます。



フランジャー

FLANGEキーを押すとフランジャーエフェクトをオン/オフすることができます。
エフェクトタイム： 10msec - 16sec
（デフォルト：500msec）
エフェクトビート： 32, 16, 8, 4, 2, 1, 1/2
（デフォルト：1）
エフェクトレベル： 0 - 100（デフォルト：75）

エコー

ECHOキーを押すとエコーエフェクトをオン/オフすることができます。
エフェクトタイム： 1msec - 3,500msec
（デフォルト：500msec）
エフェクトビート： 2, 1, 3/4, 1/2, 1/4（デフォルト：1）
エフェクトレベル： 0 - 100（デフォルト：75）

フィルター

FILTERキーを押すとフィルターエフェクトをオン/オフすることができます。
エフェクトタイム： 10msec - 16sec（デフォルト：2sec）
エフェクトビート： 32, 16, 8, 4, 2, 1, 1/2
（デフォルト：4）
エフェクトレベル： 0 - 100（デフォルト：75）

フィルターエフェクトにはオートフィルターとマニュアルフィルターの２種類があります。
オートフィルター設定時は、フィルターの周波数が設定したエフェクトタイムまたはエフェクトビートで自動的に変化します。
マニュアルフィルター設定時は、ジョグダイアルでフィルター周波数を手動で変化させることができます。
FILTERキーを1.5秒以上押すと、オートフィルターとマニュアルフィルターの切り替えることができます。

ご注意

マニュアルフィルター設定時は、フィルターエフェクトをオンにするとスクラッチ機能がオンのときでも、ジョグダイアルでフィルター周波数を変化させることができます。

このときスクラッチは点灯ですが、スクラッチ動作できません。フィルターエフェクトをオフにすることにより、動作できるようになります。

4-5. リバース再生

REVERSEキーを押すと、リバース再生のオン/オフを行うことができます。リバース再生モード時はREVERSEキーが点灯します。

ご注意

- 再生一時停止後３秒間はリバース再生はできません。
- リバース再生時は、フラッシュスタート、ループポイントの作成、およびオートキュー機能は働きません。

4-6. サンプラー

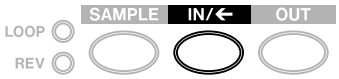
CD-X1700にはそれぞれのプレーヤーに８秒のサンプラーが搭載されています。

サンプリング

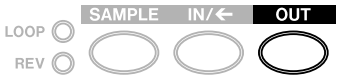
ご注意

- サンプリングを行う場合はIN/←キーおよびOUTキーが消灯している（サンプリングデータが無い）ことを確認してください。既にサンプリングデータがある場合は、サンプリングデータを消去してからサンプリングを行ってください。

1. 再生中または一時停止中にIN/←キーを押します。このときIN/←キーが点灯し、SAMPLEキーおよびOUTキーが点滅します。



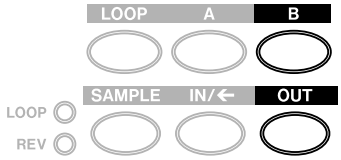
2. 再生中または一時停止中にOUTキーを押します。このときIN/←キーおよびOUTキーが点灯し、SAMPLEキーが消灯します。



IN/←キーを押して８秒経過すると、自動的にサンプリングを停止します。

A-Bループ区間のサンプリング

A-Bループ区間が設定されている場合、OUTキーとBキーを同時に押すことにより、その区間をサンプリングすることができます。A-Bループ区間が８秒以上ある場合、最初の８秒間をサンプリングします。

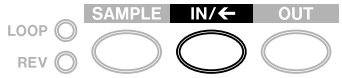


ご注意

ループ再生中はA-Bループ区間のサンプリングはできません。

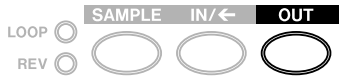
サンプラーの再生

IN/←キーとOUTキーが点灯しているとき、IN/←キーを押すとサンプラーを常に最初から再生します。



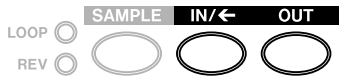
サンプラーの停止

サンプラーの再生中にOUTキーを押すとサンプラーの再生を停止します。



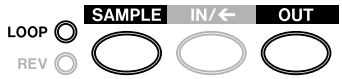
サンプリングデータの消去

IN/←キーとOUTキーを同時に押すと、サンプリングデータを消去します。このとき、IN/←キーとOUTキーが消灯します。



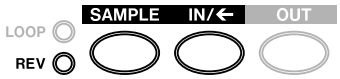
サンプラーのループ再生

SAMPLEキーとOUTキーを同時に押すとサンプラーループ再生をオン/オフします。サンプラーループ再生がオンのときは、LOOP LEDが点灯します。



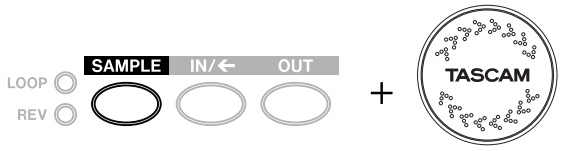
サンプラーのリバース再生

SAMPLEキーとIN/←キーを同時に押すとサンプラーリバース再生をオン/オフします。サンプラーリバース再生がオンのときは、REV LEDが点灯します。



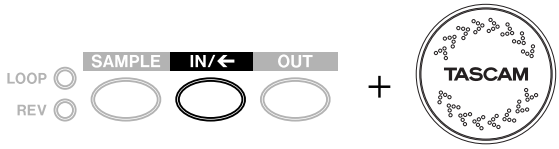
サンプラーのピッチコントロール

SAMPLEキーを押しながら、ジョグダイアルを回すことにより、サンプラーのピッチコントロールを行うことができます。ピッチコントロールレンジは±32%、0.1%単位です。



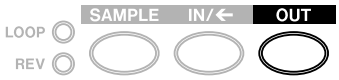
サンプラーの再生レベルの設定

INキーを押しながらジョグダイアルを回すことにより、サンプラーの再生レベルを調整することができます。再生レベルの可変範囲は0（無音）から100（通常再生レベル）です。



サンプリングデータのリコール

サンプリングポイントをメモリーしている場合、トラックメモリーリコール後、OUTキーを1.5秒押し続けることにより、サンプリングを自動的に開始します。

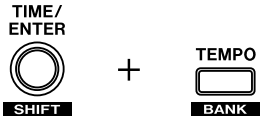


4-7. トラックメモリー/リコール

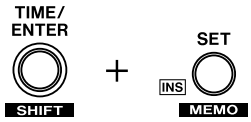
CD-X1700はトラックごとに再生設定をメモリーすることができます。最大100曲×5バンク（A～E）のトラックメモリーが可能です。
同一バンク内に同一トラックのメモリーは1回のみです。同一のトラックに対して複数の設定をメモリーしたい場合は、バンクを切り替えてください。

メモリー

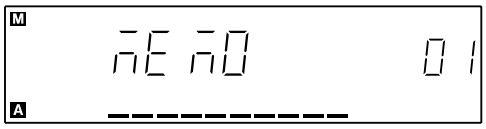
1. SHIFTキーを押しながらTEMPO/BANKキーを押しメモリーバンク（A～E）を選択します。



2. SHIFTキーを押しながら、SET/MEMOキーを押してメモリーモードにします。



3. LCD内のパラメーター表示部に空のメモリー番号が表示されます。



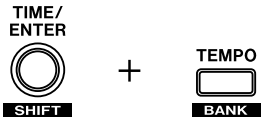
4. 必要に応じてジョグダイアルでメモリー番号を選択します。
5. ENTERキーを押します。このとき、選択されたメモリー番号に既にデータがある場合、LCD内に -SUrE- と表示します。続けてENTERキーを押すと現在のトラックの情報を上書きします。

トラックメモリー可能な情報

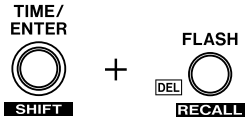
- DISC ID
- キューポイント
- CUE 1-3ポイント
- LOOP A/Bポイント
- LOOPモード
- 再生モード
- テンポ値
- テンポレンジ
- TAP値
- タイムモード
- ブレーキオン/オフ
- ブレーキタイム
- キーオリジナルオン/オフ
- サンプリングポイント（IN/OUT）
- キー値
- エフェクト設定

リコール

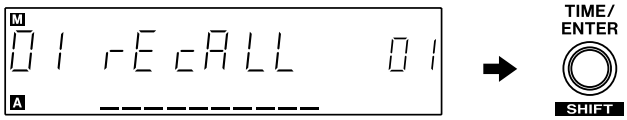
1. SHIFTキーを押しながらTEMPO/BANKキーを押しメモリーバンク（A～E）を選択します。選択したメモリーバンク内に、現在選択されているトラックのトラックメモリーデータがある場合、LCD内のMインジケーターが点灯します。



2. SHIFTキーを押しながら、FLASH/RECALLキーを押してリコールモードにします。現在選択されているトラックのメモリーデータがある場合、そのメモリー番号がLCD内のパラメーター表示部に表示されます。

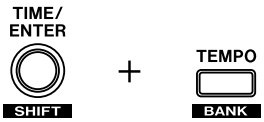


3. ENTキーを押すとトラックメモリーデータをリコールします。

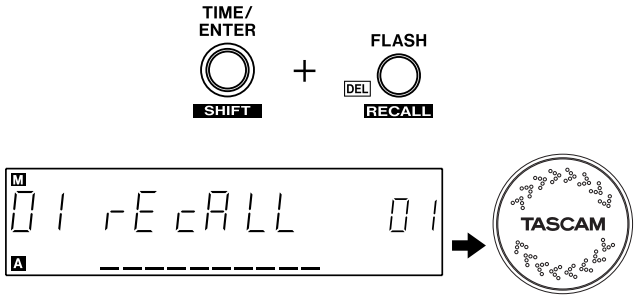


また、トラックメモリー番号から再生トラックを選択することもできます。

1. SHIFTキーを押しながらTEMPO/BANKキーを押しメモリーバンク（A～E）を選択します。



2. SHIFTキーを押しながら、FLASH/RECALLキーを押してリコールモードにします。ジョグダイアルでトラックメモリー番号を選択します。



3. ENTキーを押すと、トラックメモリーデータにメモリーされているトラックとそのトラックメモリーデータを呼び出します。

ご注意

この機能を使うことにより、キューポイントやループポイントのメモリー/リコールも可能です。ただし、リコールした直後はフラッシュスタートやシームレスにループ再生に移行することはできません。一旦キューポイントから再生したり、ループ再生を行うと次回からはフラッシュスタートや、シームレスにループ再生に移行することができます。

4-8. フェーダースタート

フェーダースタートに対応した外部ミキサーからCD-X1700をフェーダースタート/バックキューさせることができます。リアパネルのFADER START端子と外部ミキサーを付属のフェーダースタートケーブルで接続してください。このとき、オーディオ信号もフェーダースタートを行うミキサーに接続してください。

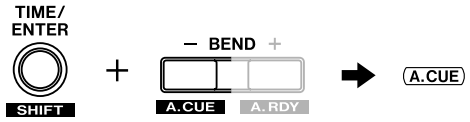
TIP: スタート（50ms以上のローパルス）
GND: バックキュー（50ms以上のローパルス）

4-9. リレー再生

左右どちらかのユニットでリレー再生機能をオンにすると、左のユニットの再生が終了すると右のユニットの再生を自動的に開始し、右のユニットの再生が終了すると左のユニットに再生を自動的に開始します。
SHIFTキーを押しながらBRAKEキーを押すとリレー再生をオン/オフします。リレー再生がオンのときは、LCD内のRELAYインジケーターが点灯します。

4-10. オートキュー

オートキュー機能をオンにすると、トラックを選択したときに音の立ち上がり位置を自動的に検出し、そこで一時停止させることができます。オートキューレベルは－54dBです。
SHIFTキーを押しながらBEND －キーを押すとオートキュー機能をオン/オフすることができます。オートキュー機能がオンのときは、LCD内のA.CUEインジケーターが点灯します。

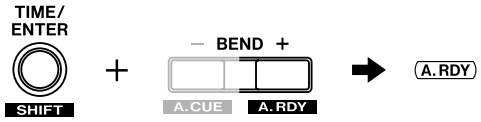


4-11. オートレディー

オートレディー機能をオンにすると、現在のトラック再生を終了すると、以下のように次に再生するトラックの頭で一時停止します。

全曲再生モード時：次のトラック
1曲再生モード時：現在のトラック
プログラム再生モード時：次にプログラムされているトラック

SHIFTキーを押しながらBEND ＋キーを押すとオートレディー機能をオン/オフすることができます。オートレディー機能がオンのときは、LCD内のA.RDYインジケーターが点灯します。



4-12. プログラム再生

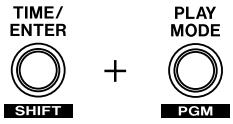
CD-X1700は最大30曲のプログラム再生機能を搭載しています。プログラムは電源をオフにしてもメモリーされます。ただしCDを取り出すとプログラム内容は消去されます。
プログラムを作成した後、PLAY/PAUSEキーを押すとプログラム再生を開始します。

ご注意

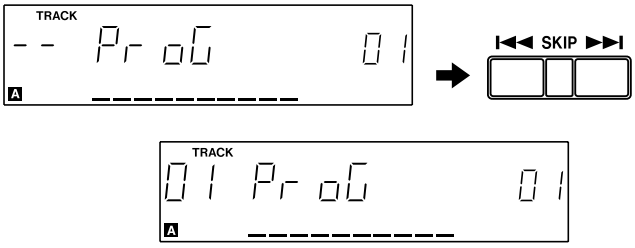
プログラム再生中にCUE 1-3キーを押すとプログラム再生は解除されます。

プログラムの作成

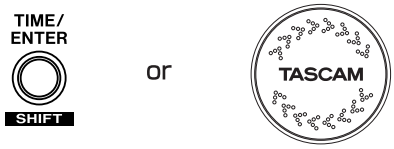
1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGMキーを押しプログラムエディットモードにします。



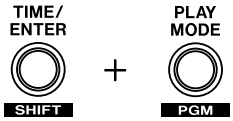
2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。SKIPキーでトラックを選択します。



3. ENTキーまたはジョグダイアルを右に回して次のプログラム番号を表示します。

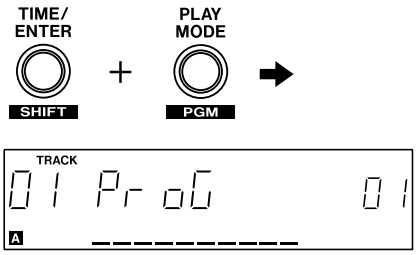


4. 2～3をくり返します。
5. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGMキーを押しプログラムエディットモードを終了します。

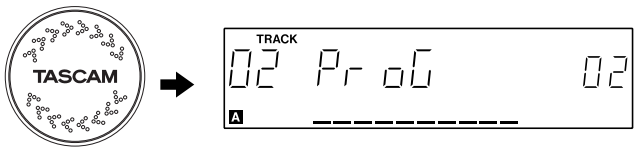


プログラムの変更

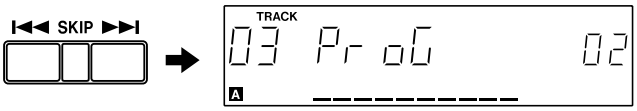
1. SHIFTキーを押しながらP.MODE/PGMキーを押しプログラムエディットモードにします。



2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。変更したいプログラム番号をジョグダイアルで選択します。

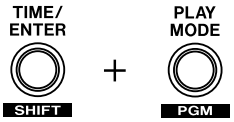


3. SKIPキーでトラックを変更します。



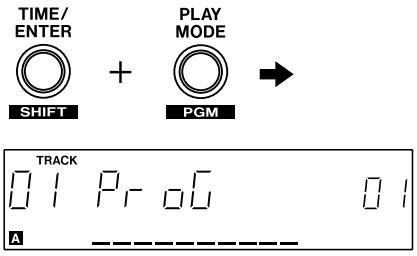
4. 2～3をくり返します。

5. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGMキーを押しプログラムエディットモードを終了します。

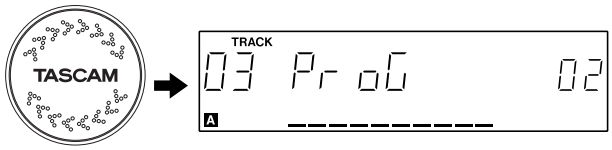


プログラムの追加

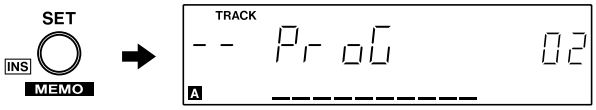
1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGMキーを押しプログラムエディットモードにします。



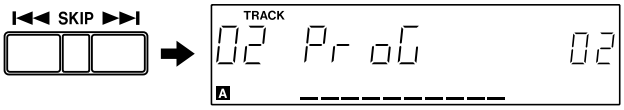
2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。プログラムを追加したい位置のプログラム番号をジョグダイアルで選択します。



3. SET/INSキーを押します。

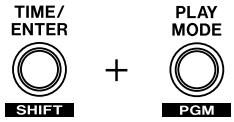


4. SKIPキーでトラックを選択します。



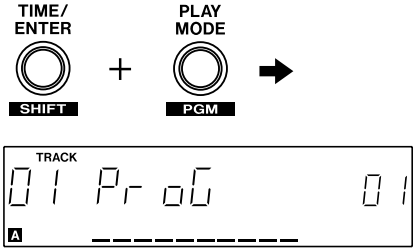
5. 2～4をくり返します。

6. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGMキーを押しプログラムエディットモードを終了します。

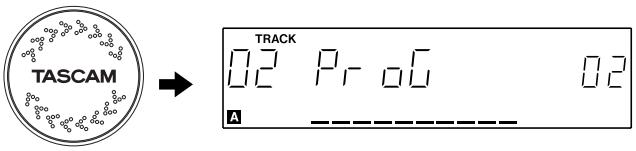


プログラムの削除

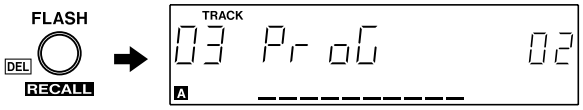
1. SHIFTキーを押しながらP.MODE/PGMキーを押しプログラムエディットモードにします。



2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。削除したいプログラム番号をジョグダイアルで選択します。

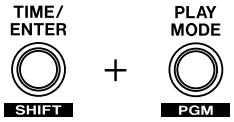


3. FLASH/DELキーを押します。



4. 2～3をくり返します。

5. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGMキーを押しプログラムエディットモードを終了します。



4-13. MP3ファイルの再生

CD-X1700は以下のフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。

ディスクフォーマット	：ISO9660 Level 1
ディレクトリ数	：最大254ディレクトリ
ファイル数	：最大255ファイル
ファイルフォーマット	：MPEG 1 Audio Layer 3
ビットレート	：32kbps～192kbps、固定ビットレート
サンプリング周波数	：44.1KHz、ステレオ
ファイル拡張子	：mp3, Mp3, mP3, MP3

ご注意

- マルチセッションで記録されたディスクの場合、最初のセッションに記録されたファイルのみを再生します。
- 可変ビットレート（VBR）のファイルの再生はできません。
- MP3再生においては以下の機能はサポートしておりません。
  - CUEおよびCUE 1-3機能
  - フラッシュスタート
  - A-Bループ再生
  - サーチ
  - リバース再生
  - トラックメモリー
  - トータルリメインタイム表示
  - リメインタイム
  - タイムアドレスバー表示

ご注意

MP3再生時、リバース方向のスクラッチは最大7秒まで可能です。

MP3ファイルの再生

1. MP3ファイルが記録されたディスクを挿入します。
2. SKIPキーでファイルを選択します。
3. PLAY/PAUSEキーを押します。

SHIFTキーを押しながらSKIPキーを押すと、ディレクトリ単位でスキップすることができます。

ご注意

CD-X1700はテキスト表示には対応しておりません。ファイル番号をトラック表示部に、ディレクトリ番号をパラメーターディスプレイに表示します。

4-14. プリセットメニュー

SHIFTキーを押しながらジョグダイアルを回すとプリセットメニューを呼び出し選択ます。

プリセットメニューを選択後、ENTキーを押します。各プリセットメニューの現在設定されているパラメーターがパラメーター表示部に表示されます。

ジョグダイアルでパラメーターを選択します。

ENTキーを押して設定を確定します。

他のキーを押すとプリセットメニューを抜けます。

プリセット番号	内容	パラメーター（*:デフォルト）	機能
01 LOOP	LOOPモード	A-b*, S, ALL	ループモードを設定します。 A-b：A-Bループモード S：1曲ループモード（LCD内の (S) インジケーターが点灯） ALL：全曲ループモード（LCD内の (ALL) インジケーターが点灯）
02 t_PLAY	タイマースタート	OFF*, ON	タイマースタート機能をオン/オフします。
03 dIrECt	ダイレクトモード	OFF*, ON	ダイレクトモードをオン/オフします。 ダイレクトモードがオンのとき、ディスク再生中でもディスクのイジェクトが可能になります。またディスクを挿入すると自動的に再生を開始します。
04 rEAd	TOCリードモード	nor*, AUt	TOCリードモードを選択します。 nor：標準のサーボ値を使用します。 AUt：毎回サーボを調整します。
05 rECALL	メモリーオートリコール	nor*, AUt	トラックメモリーのリコールモードを設定します。 nor：リコール操作を行ったときにトラックメモリーデータを呼び出します。 AUt：トラックメモリーされているトラックが選択されると自動的にテンポ値、テンポレンジ、キー値、キーオリジナル設定、TAP BPM値を呼び出します。
06 FAdEr	フェーダースタートソース	Cd*, SAm, COm	Cd: CDをフェーダースタートします。 SAm:サンプラーをフェーダースタートします。 COm:CDとサンプラー両方をフェーダースタートします。
07 F_PrE	プリセットの初期化	-SUrE-	プリセットメニューを初期化します。
08 ALLCLr	メモリーオールクリア	-SUrE-	全てのトラックメモリーデータを消去します。

4-15. バックアップメモリー

電源をオフにしても、以下の設定をバッテリーバックアップします。

- タイムモード
- 再生モード
- フラッシュスタートオン/オフ
- ブレーキオン/オフ
- ブレーキタイム
- キーオリジナルオン/オフ
- オートキューオン/オフ
- オートレディーオン/オフ
- リレー再生オン/オフ
- テンポレンジ
- メモリーバンク
- プリセットメニュー設定
- キューモード
- プログラム
- エフェクトオン/オフ
- リバース再生オン/オフ

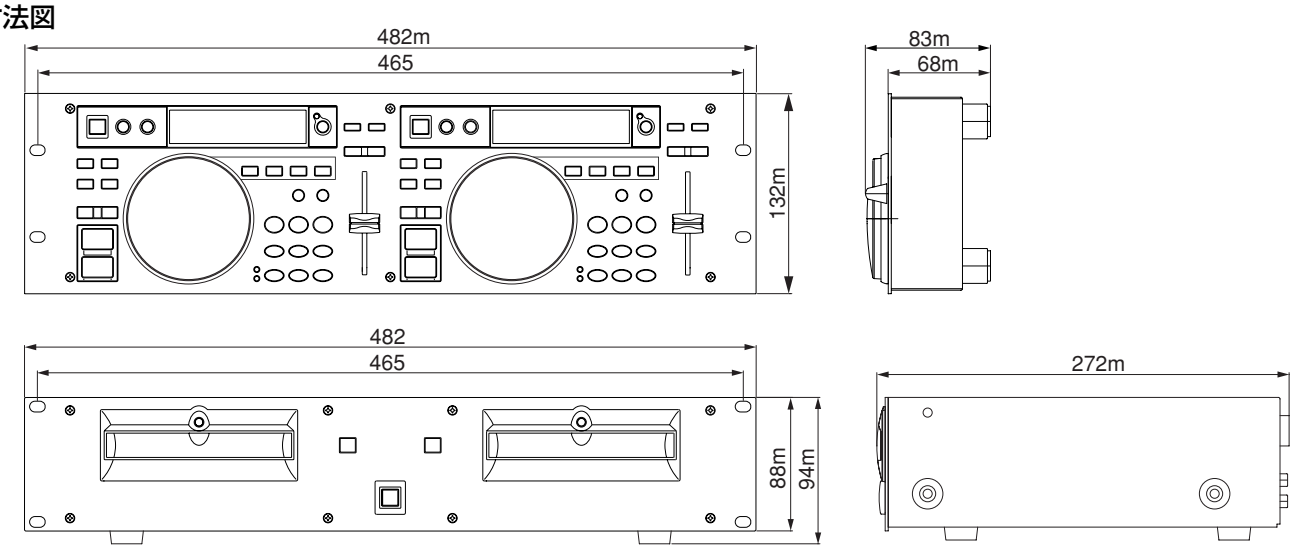
使用ディスク	8cm / 12cm CD
チャンネル数	2チャンネル
量子化ビット数	16ビット
サンプリング周波数	44.1kHz
アナログ出力	RCAピン
出力インピーダンス	1kΩ以下
最大出力レベル	+6dBV
デジタル出力	Coaxial
フォーマット	IEC60958 Type II
電源	100V AC, 50-60Hz
消費電力	30W
外形寸法（W x H x D mm）	
本体	482 x 94 x 272
リモートコントローラー	482 x 132 x 83

質量	
本体	5.7kg
リモートコントローラー	2.5kg

以下の性能はキーおよびテンポが0%のときのものです。

周波数特性	20 − 20kHz,+0.5/-1.0dB
ダイナミックレンジ	95dB以上
S/N比	95dB以上
歪み率	0.01%以下

寸法図



エラーメッセージ

本機が正常に動作ができない場合は、LCD内にエラーコードを表示します。以下に示す表でエラー内容とその処置を行ってください。また以下にないエラーが出た場合や、処置を行ってもエラーが出る場合は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜き取り、お買い上げ店または最寄りの弊社サービスステーションにご連絡ください。

エラー	エラー内容	処置
Err 01	20秒以内にTOCが読みとれない	ディスクに傷がある →ディスクを交換してください。
Err 02	5秒間GFS信号が検出されない	ディスクが汚れている →ディスクをクリーニングしてください。
Err 03	フォーカスがかからない	
Err 04	サブQコードが検出できない	ディスクを交換してください。
Err 05	5秒以内にローディングが終了しない	トレイに異物がないか確認してください
Err 06	ドライブのエラーです	電源を再投入してください
Err 07	デッキ間の通信エラーです	
Err 10	内部RAMのエラーです	

この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

タスカム営業技術　〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:00～17:00です。

ティアック修理センター　〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、
通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、
「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあり
ます。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の
電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
http://www.teac.co.jp/tascam/

Printed in China